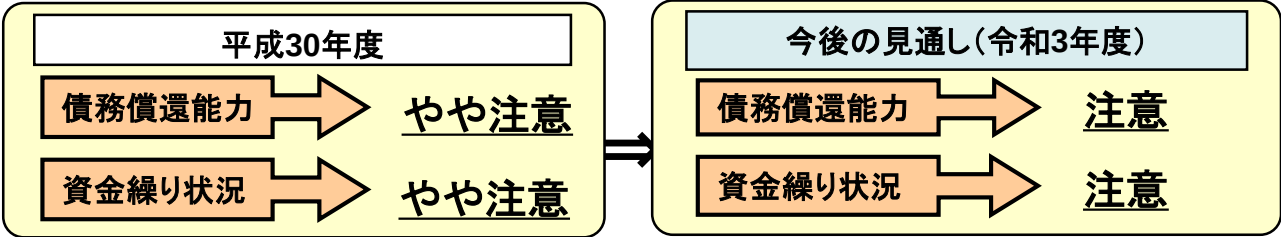


扶桑町の財務状況把握結果(要旨)

総合評価

(R2. 12. 16 財務省 東海財務局)



財務指標

指標	① 実質債務月収倍率 〔 $\frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収入} \div 12}$ 〕	② 債務償還可能年数 〔 $\frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収支}}$ 〕	③ 行政経常収支率 〔 $\frac{\text{行政経常収支}}{\text{行政経常収入}}$ 〕	④ 積立金等月収倍率 〔 $\frac{\text{積立金等残高}}{\text{行政経常収入} \div 12}$ 〕
問題なし	6.5月 ↓ 上昇	6.5年 ↓ 長期化		3.7月 ↓ 低下
やや注意	18.0月	15.0年	10.0% ↓ 8.4% ↓ 低下	3.0月 ↓ 低下
注意	24.0月		0.0%	1.0月

留意点

債務償還能力(①、②、③)

資金繰り状況(③、④)

○安定的かつ持続可能な行財政運営に向けて

貴町は、名古屋市に近く、近隣の市町には大規模製造企業が多く立地し、交通の利便性が高いこと等から人口増加が続いている。このため、歳入面では、個人住民税や固定資産税(土地)で安定的な税収を確保しており、平成30年度における人口1人当たりの行政経常収入に占める自主財源の割合は、類似団体平均より優位している。

一方、歳出面では、物件費や繰出金(建設費以外)が増加しており、行政経常収支の伸び悩みの一因になっている。

平成26年度以降、行政経常収入及び行政経常支出は増加傾向にあるものの、財政構造に大きな変化はなく、行政経常収支率は10.0%未満で推移している。

また、貴町の令和3年度の将来見通しにおける財政状況は、公債費や社会保障関係経費等の増加に伴う財政調整基金の取崩しにより、積立低水準となる見通しである。さらに、尾張北部環境組合負担金の増加等で収支低水準となることが見込まれ、財政の悪化が危惧される。

今後予定されている大規模事業を計画的に実施するため、限られた財源の中で効率的な財政運営を進め、財政基盤の強化に努められたい。

財務指標の経年推移

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
債務償還可能年数	6.8年	8.3年	7.0年	6.2年	6.5年
実質債務月収倍率	6.9月	6.8月	6.4月	6.2月	6.5月
積立金等月収倍率	3.5月	3.8月	3.9月	3.9月	3.7月
行政経常収支率	8.4%	6.8%	7.6%	8.2%	8.4%

※平均値は、いずれもH30年度

類似団体 平均値	全国 平均値	(参考) 愛知県 平均値
9.9年	8.1年	5.9年
8.7月	8.5月	5.5月
5.4月	7.5月	4.9月
8.0%	10.9%	11.9%